

3 課題と方向性

市の特色は？

- ★子どもが多い
- ★子育て世代が多い
- ★核家族化・高齢化が進んでいる
- ★学生が多い
- ★長生き市

市民の食生活は？

- ★成人の約半数が自分の食生活を問題視している
- ★20代男女の4割弱が朝食を食べないことがある
- ★成人の8割弱が「食育」に関心がある
- ★死因の6割弱が生活習慣病である

「食育推進の基本目標」

食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる市民の育成を目標とします。本市では、その目標を達成するために、食の大切さを次の言葉で表しました。

『 マイ日、進めよう食育につしん 』

毎日、米(ご飯)を食べましょう！

＜ 食育基本計画における取り組むべき施策 ＞

1. 家庭における食育の推進
2. 学校、保育所等における食育の推進
3. 地域における食育の推進
4. 食育推進のための環境づくり

第4章 食育推進計画の目標と取組み

1 目標と取組み

(1) 家庭における食育の推進

課題

ライフスタイルの変化や、忙しい生活の中で、孤食化、食の外部化、食べ物が気軽に手に入る環境、中食（なかしょく）の利用の増加、手作りの食事の減少などのように、食をめぐる環境変化の中で、食習慣の乱れが生じています。

このため、一人ひとりが家庭や地域において自分や子どもの食生活を大切にし、男女共同参画の視点もふまえつつ健全な食生活を実践できるよう取り組んでいくことが必要です。

家族団らん、生活のリズム、食のマナーなどもそれぞれの立場を理解した中で、協力し合える取組みが求められています。

※中食とは？

中食とは、外食と家庭での料理の間にあるものとして、そう菜や弁当などを買って家庭で食べること、または、そう菜や弁当などのように、家庭で調理加熱することなく、そのまま食事として食べられる状態の食品のことを指します。

目標

● 家族で食卓を囲もう

家族で楽しく食事をすることは、子ども達に食に関心を持たせ、食事の楽しさを知る機会となり、心の豊かさをもたらします。家族や友人などみんなで食事や料理を楽しみましょう。

● 規則正しい生活を送りましょう

「朝・昼・晩」1日3食、規則正しくよく噛んでゆっくり食べること、油脂類や塩分の摂りすぎは生活習慣病の原因となります。食事バランスガイドなどを参考に生活習慣病を予防します。また、早寝早起き、適度な運動を行うことで、摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスが取れ、健康な体が作られます。

● 家庭の味を大切にし、感謝の気持ちを持ちましょう

健康な心身をつくる原点は家庭にあります。手作りの食事は食べ物の大切さを感じる機会です。自分で素材を選び、バランスを考え作った料理は一段とおいしく感じられるはずです。また、出来上がるまでの過程を体験することで、作ってくれた人への感謝の気持ちが強まります。

具体的な取り組み

家庭では



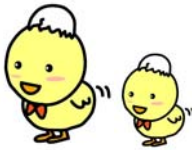
- できるだけ食事は家庭で手作りするなど、家庭の味を伝えていきます。
- 家族揃って食事づくりに取り組みます。料理や買い物などを通じ、コミュニケーションをとり、食事は一緒に食べる機会を増やします。
- 朝食は必ず家族揃って食べるようにするなど、朝食を欠かさないよう習慣づけます。早寝早起き朝ごはんを実践し、正しい生活のリズムを身につけます。
- 「ひじをついて食べない」、「背筋をのばして食べる」、箸の持ち方や「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを言う習慣など、食事に関するマナーを身につけます。
- 栄養バランスの取れた食事を心がけ、地域の伝統料理を引き継ぎ、食事内容の充実を図ります。
- 子どもの頃から農作業体験や食品製造現場と一緒に見学するなど、楽しみながら食と健康について学びます。
- 食の安全や健康に関する風評などに惑わされず、正しい情報に基づいた食生活を送ります。

市は

- 食事バランスガイドなど食に関するリーフレットなどの配布を通じ、保護者に対して、家庭でのしつけや食の重要性についての啓発を行います。
- 各種相談を活用し、栄養に関する情報提供や指導を行います。
- 若い世代や男性など、料理の機会が少ないと思われる方々を対象とした料理教室を開催します。
- 食に関する楽しさを感じることでできる機会の提供に努めます。

現在までに以下のような取り組みを行っています。

①健康推進課

所属	生涯支援部健康推進課
テーマ	健康長寿を目指して ～子どもの頃から早寝・早起き・朝ごはん！食事を楽しみましょう～
取組事例	<p>健康寿命の延伸と生活の質(QOL)の向上を目指して「いきいき健康プランにっしん21」計画を策定し、9つの分野とライフステージごとに、生活習慣の改善による健康増進や疾病予防などの食育を含む健康づくりを推進しています。</p> <p>母親教室では、「妊産婦のための食生活指針」についての講話とお勧め献立の試食などを通じてバランスのとれた食事や妊娠・授乳期に必要な栄養を学んだり、妊婦さん同士の交流をはかることが出来ます。</p> <p>乳幼児健康診査や教室では、「授乳・離乳の支援ガイド」などにそった講話、試食提供、レシピやリーフレットの配布など正しい知識の普及・啓発を行うことで、楽しく食べる子どもに育つよう、将来に向けての望ましい食習慣の定着を図ります。また、相談などにより子育ての不安を解消するよう支援しています。電話での相談も随時行っています。</p> <p>成人については、健診後の事後教室として講座や特定保健指導、栄養相談を行い、生活習慣病やメタボリックシンドロームなどの予防を図るため、「食事バランスガイド」などを使用し食事バランスや適量を理解してもらい、適度な運動と合わせ、肥満予防などの生活改善に向けた支援をしています。</p> <p>イベントとしては、健康・福祉フェスティバル、健康に関する講演会の開催などを行っています。</p> <p>他に各種団体への出前講座にも出向いています。</p> <p>健康づくりを支援する地域ボランティア団体（食生活改善推進員、運動普及推進員）の養成・支援・協力にも取り組んでいます。</p> <p>食生活改善推進員会事業としては、子どもから高齢者までの各種調理実習や食についての情報提供をする教室を開催し、手作り料理を推奨しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>調理実習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健康福祉フェスティバル (食生活改善推進員会事業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>いきいき健康プランにっしん21 メジキャラクター「ヘルピー」</p> </div> </div>

(2) 学校、保育所等における食育の推進

課題

現在も日進市では各学校、保育所等において食育を進めておりますが、このような体験は、子どもが食べ物に関する知識や、地域の自然、文化、食への感謝の念を育むことができる機会となっています。

給食では、日進産米の活用など、子どもが食に関する知識を習得し、食べ物の大切さや地域の自然の恵みのすばらしさを学ぶことができる教材となっています。

子どもが食の大切さや楽しみを実感することにより、子どもを通じて家庭の食育にもつながっていきます。

学校や保育所等において、より一層食育を推進していく必要があります。

目標

● 学校、保育所等における食育推進体制をつくる

市内の学校や保育所等において、食育を組織的・計画的に推進するための体制をつくります。

● 子どもの意識を高める

子どもへの食に関する知識を習得させるため、様々な機会を通じて食の重要性や楽しさを実感させます。

● 保護者の意識を高める

子どもへの食育は、保護者や地域の人々とともに進めていくことが大切であり、学校、保育所等は、家庭や地域への支援や連携に努めます。

具体的な取り組み

家庭では

- 「給食だより」など、学校や保育所等からの食育に関する情報に目をおし、食育情報を得るようにします。
- P T A活動や地域活動など、子どもと一緒に取り組む食育活動に積極的に参加します。
- 子どもが学校、保育所等で学んだ農作業体験や食品製造現場の見学など、食についての活動を見聞きし、実践します。

保育所等は

- 食育の実践に向け、保育士や調理師の意識向上に努めます。
- 「保育園きょうしやくカレンダー」などの発行を通じ、保護者への情報発信を行います。
- 芋掘りなどの収穫体験を通じ、子どもの食材への興味・関心を高めます。また、食べ物の大切さを感じられるよう、収穫した農作物を使用した給食を提供します。
- 食前の手洗い、食事時のあいさつや、スプーンやはしの持ち方使い方などの基本的なマナーについて適切な行動ができるよう努めます。
- 給食において、子どもに食べることや噛むことの大切さを伝えていきます。また、バランスのとれた食事ができるように、偏食などの解消に向け、嫌いなものでも楽しんで食べられるような雰囲気づくりや、調理方法・メニューの工夫をします。
- 食育の日を活用し、子どもが楽しんで食の大切さを理解できるよう食育を進めます。



学校では

- 教職員に対し、食育についての情報提供を行うとともに、研修などへの参加を促進し、教える側の食に対する意識の向上を目指します。

- 既に食育に取り組んでいる学校については、より一層の充実を図ります。
- 学校栄養教諭の専門知識を効果的に発揮できるよう、各学校において指導体制づくりに努めます。
- 食育の日を活用し、子どもが楽しんで食の大切さを理解できるよう食育を進めます。
- 毎日の給食で栄養バランスのとれた食事を提供し、食について学ぶ機会としていきます。
- 日進産米による米飯給食を主とした給食提供や、地元産の農作物を用いた給食を提供します。
- 子どもへの食育を通じ、家庭へもその効果をつなげることが出来るように保護者への情報発信を行います。
- 農業体験活動を進め、子どもが食と農業を一体的に理解できるよう指導を行います。
- 芋掘りなどの収穫体験を通じ、子どもの食材への興味・関心を高めます。
また、食べ物大切さを感じられるよう、収穫した農作物を使用した給食を提供します。

現在までに以下のような取り組みを行っています。


①学校教育課

所属	教育振興部学校教育課
テーマ	食の大切さ、命の大切さを学ぶ体験学習
取組事例	<p>教材園などにおける取り組み</p> <p>具体的な取り組み内容は学校ごとに異なりますが、生活科や総合的な学習の時間などを使って、市内のすべての小学校で、教材園や地域の方に畑や水田を借りるなどして、野菜や米の栽培をし、それを自分たちで調理してみんなで楽しく食べるという取り組みを行っています。</p> <p>地域の方が野菜作りなどの講師として加わっている学校もあります。</p> <p>さらに高学年では、食事と健康の関わりを調べて、食育を本格的に学んでいます。</p>  <p>田植えの様子 (東小)</p> <p>今後とも、各学校のさまざまな取り組みにより、子どもたちが食べ物の大切さやみんなで食べることの楽しさを体験的に学び、少しでも子ども達の食の偏りや食生活の乱れを改善したいと考えています。</p> <p>子ども達は、食育の基本である食べものの大切さを、この年間を通じての体験学習で学び、貴重な経験をしています。</p>  <p>稲刈りの様子 (東小)</p>

②学校給食センター

所属	教育振興部学校給食センター
テーマ	地場産物や郷土・伝統的料理の取り入れと啓発活動
取組事例	<p>地場産物の活用</p> <p>学校給食による食育への取組みの代表は、地場産物の献立への活用です。年間を通して、お米は愛知県産（主にJAあいち尾東管産）の「あいちのかおり」を、野菜や豚肉、卵は、愛知県産のものを中心に使用しています。</p> <p>学校給食の発祥を記念した「全国学校給食週間（1月24日～30日）」の献立では、特に市内農産物を積極的に使用しています。</p> <p>また、6月の「食育月間」、毎月19日の「食育の日」にちなみ、愛知県では6月19日を「愛知を食べる学校給食の日」としているため、この日は県内産の食材にこだわっています。</p> <p>郷土料理、伝統的料理などの取り入れ</p> <p>食料消費構造と食料自給率との関係や、地域固有の食材や食文化等を理解してもらおうと、この地域・地方に伝わる郷土料理を献立に生かしています。</p> <p>「全国学校給食週間」と「愛知を食べる学校給食の日」では、特にこれをテーマとして献立を立てています。</p> <p>ご飯は1週間に4回以上として、「旬」のものを使用して、きしめんや味噌煮込み（風）うどん、ひきずり、味噌おでん、にんじんご飯などの郷土料理や、季節にちなんだ伝統的料理、行事料理を取り入れて、「伝えたい味や話題性のある献立」を心がけています。</p> <p>啓発活動</p> <p>●栄養教諭による給食指導</p> <p>栄養教諭が学校へ出向いて、食品の栄養特性やその組み合わせ方、食品の安全性、食事と疾病との関係などについて、正しい理解と望ましい習慣を身につけてもらうように指導・助言を行なっています。主に、給食や家庭科等の時間に、小学校3年生・5年生、中学校1年生を対象に行なっています（他の学年でも、希望があれば訪問しています。）</p> <p>●給食試食会／給食だよりの発行</p> <p>学校ごとに給食の試食会（有料）を、保護者向けに実施しています。児童生徒と同じ給食を食べていただき、栄養教諭から学校給食の概要や児童生徒への食生活指導のあり方などをお話しています。</p> <p>また、年に2回発行する「給食だよりの」では、学校給食の話題に限らずに、家庭で気にしていただきたい「食の話題」などもお知らせしています。</p>   

③児童課

所属	生涯支援部児童課
テーマ	食にまつわるおいしい体験から五感で食を感じよう
取組事例	<p>子どもが保育園での生活と遊びの中で、自らの意思を持って食に関わる体験を積み重ねることができるよう野菜栽培、クッキング保育の実施など様々な工夫を保育内容に計画的に取り入れています。</p> <p>園庭での野菜栽培</p> <p>保育園では、長年にわたり保育活動の一貫として、園庭で野菜等の栽培を行ってきました。これら園で栽培した野菜は、給食に使用することで、食べられなかったものが食べられるなどの成功体験につながっています。</p> <p>(栽培する野菜の例) ナス、ピーマン、スイカ、トマト、ゴーヤ、さつまいも、米 など</p>  <p>さつまいも掘りの様子</p> <p>クッキング保育等の実施</p> <p>栽培以外にも、おやつ作り、給食準備のお手伝いなどの食に関わる体験も行っています。なお、実施については衛生面に十分配慮しています。</p> <p>① おやつクッキング・(月に0～4回位) おにぎり、ホットケーキ、お好み焼き、五平餅、海苔つき芋餅、月見団子、おこしもん、スイートポテト、手作りウィンナードック、餅つき体験など</p> <p>② 給食準備のお手伝い たけのこの皮むき、そら豆・グリーンピースをさやから出す、とうもろこしの皮むき、じゃが芋洗いなど</p> <p>保育園における「食育の計画」づくり</p> <p>保育のなかでの食育活動については、長年にわたり保育計画に組み込んだプログラムに基づき実施しているところですが、さらに食育に主眼をおいた保育園食育計画を策定しようと検討を始めています。</p>

所属	生涯支援部児童課
テーマ	おいしく バランスのよい給食を通じて伝える 「食育」
取組事例	<p>乳幼児期における食の重要性が認識されてきている子ども達1人ひとりの状況に応じて、その取り組みの内容に一層の深みと広がりが見られてきています。「あいち食育いきいきプラン」においても、関係者が行う取組のなかに「給食を活用した指導の充実」「給食を通じたコミュニケーションの促進」「給食における地場産物や郷土料理等の導入促進」など、食育推進において給食に期待するところは大きく、本市においても献立内容の充実を図っています。</p> <p>給食の献立内容の充実</p> <p>具体的な献立作成に当たっては給食のための様々な条件を検討し、子どもがおいしく、そして楽しく食べる事ができるよう配慮し、栄養バランスのとれた食事としています。</p> <p>また、家庭では敬遠されがちな野菜・乾物・豆などの食材や調理方法も意識的にとり入れ、地元産の食材・旬を意識したものとしています。</p> <p>行事食や郷土料理の実施</p> <p>時期に応じて積極的に献立に取り入れるとともに、そのいわれを園で共有し子どもに話し伝えていきます。</p> <p>(行事食・郷土料理の例)</p> <p>七草がゆ、鏡開き、節分、おこしもん、ひなまつり、お彼岸のおはぎ、赤飯、端午の節句、七夕、月見団子、クリスマスなど</p> <p>保育園きょうしゅくカレンダーの配布</p> <p>各家庭に配布するきょうしゅくカレンダーでは、給食に使用する食材を3色食品群に分けて記載しており、バランスのとれた食事を例示しています。また献立情報のみでなく栄養・食材・食生活に関する記事を掲載しており、望ましい食生活についての啓発を行っています。</p>



④PTA（梨の木小学校）

所属	梨の木小学校PTA
テーマ	育て、食する経験
取組事例	<p>梨の木小学校のPTAでは、教育目標のひとつにも掲げられている『いのちを尊び、たくましく生きる人間をそだてる』ため、次のような取り組みを行っています。</p> <p>教材園における栽培活動</p> <p>校内の教材園で、大豆やもち米、サツマイモなどを栽培・収穫し、収穫後は、豆腐作りや餅つき、茶巾絞りなど、素材を活かした調理実習を体験します。</p> <p>栽培から食卓に並ぶまでの全行程を自ら体験することで、食の大切さ、ものづくりについて、楽しみながら学ぶことができます。</p> <p>里山という恵みのある環境づくり</p> <p>日進里山保全プロジェクト（水と緑の課）をきっかけに、近隣の荒廃した里山を学習林として活用し、再生に向け取り組んでいます。竹林の整備のほか、竹の子掘りや流しそうめん、山菜クッキングなど、地域社会を巻き込んだ活動を行っています。</p> <p>このような活動は、体験にとどまらず、問題解決能力やコミュニケーション能力の発展にもつながるため、授業やPTA活動にも積極的に導入しています。</p> 

⑤PTA(西小学校)

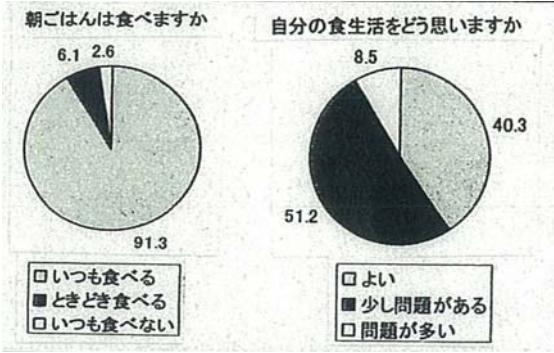
所属	西小学校PTA	
テーマ	西小学校における食育活動	
取組事例	<p>西小学校のPTAでは、教育目標にも掲げている『自他の敬愛と協力により、人間と自然とが共生する創造的で活気に満ちた社会の発展に尽くす態度を持った児童』を育成するために以下のようなことに取り組んでいます。</p>	
	<p>学年別の農地にて作物の栽培</p>	
	1年生・6年生	さつまい
	2年生	柿と野菜
	3年生	お茶と野菜
	4年生	ぶどう
	5年生	米
	<p>4年生が行っているぶどう作りでは、芽欠き、受粉、袋掛け等の作業を経て、夏休み</p> <p>みに保護者とともに収穫祭を開催しました(平成20年度実施)。デラウエアを栽培し、質量とも上出来で、親子で収穫を祝いました。</p>	
	<p>5年生が行っている米作りでは、田植えと稲刈りを体験し、秋には収穫祭を行いました。</p> <p>自分たちで野菜づくりを体験することで、嫌いな野菜を食べることができるようになる生徒もいます。このような一連の作業を体験することで、食物を作ることの大変さや喜びを知り、食べものを大切に思う心を培います。</p>	
	<p>給食試食会の実施</p> <p>1年生の保護者を対象に給食の試食会を実施しています。毎年60名ほどが参加し、給食センターの栄養教諭の方から食についてご指導いただいています。</p>	
<p>食についての指導</p> <p>年に数回、給食の時間を利用して、栄養教諭の方から児童へ食についてご指導いただいています。</p>		
<p>月に1回保健便りを発行</p> <p>保健便り『えがお』では、朝食の大切さや偏食、肥満の弊害など、食生活の大切さを分かりやすい言葉で説明しています。</p>		



稲刈りの様子

⑥PTA(東中学校)

所属	東中学校PTA
テーマ	食生活と栄養バランス ～ 学校と家庭が連携して進める食育 ～
取組事例	<p>東中学校PTAでは、学校と連携・協力して各家庭でどんな食育・どんな支援ができるか考え、取り組んできました。3つの取組みを紹介します。</p> <p>「生活アンケート」を基にした話し合い</p> <p>5月に全校生徒を対象に「生活アンケート」を実施しています。結果は「保健だより」で全家庭に配布されています。</p> <p>学校では、その結果を生かして10分間保健指導などを進め、一人ひとりのよりよい生活を目指し指導しています。</p> <p>7月には9名の保護者が先生たちの会議に加わり、学校の保健指導の様子を知るとともに、家庭で協力できる食育への取組みについて話し合いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="288 1061 738 1099" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 家庭科の授業「よりよい食生活」 </div> <div data-bbox="1043 1093 1414 1317"> </div> </div> <p>家庭科の授業では、健康で充実した生活を送ることができるよう、バランスのよい食事のとり方や、食品衛生に関する体験的な学習を進めています。</p> <p>栄養バランスを考えた1週間の食事の献立は多くの家庭で参考になっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="288 1397 826 1435" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 食事の大切さを学ぶ 「給食栄養指導」 </div> <div data-bbox="1011 1339 1422 1368" style="text-align: center;"> どう工夫したらバランスのよい食事になるかな </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="277 1503 636 1771"> </div> <div data-bbox="660 1496 1442 1771"> <p>学校には、給食センターの栄養教諭の方からも指導があります。給食を中心にすえ、「栄養のバランス」「朝食と体温・テスト・持久力」など、子供たちの生活全般にわたる食育を進めています。給食の考えられたメニューには改めて感心します。各家庭でも栄養が偏り過ぎない献立を考え、少しずつ実践します。</p> </div> </div> <p>朝食は、こんなに大切なんですよ</p> <p>「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に始まった食育。知れば知るほど、子供たちの健全な生活習慣の大切さがわかってきます。今後も、各家庭での栄養バランスの向上、よい食習慣づくりを目指します。</p>



日東中生の食生活は・・・(『生活アンケート』より)

(3) 地域における食育の推進

課 題

ごはんを中心とした日本型食生活や地域で継承されてきた特色ある伝統料理などの食文化が失われつつあります。

食育の幅広い推進のためには、家庭や学校での推進はもとより、地域が一体となって取り組むための体制づくりが求められます。

地域の実情に応じて、家庭、学校、企業、生産者、関係機関、市民団体、ボランティアなどが連携し、できるだけ多くの市民が参加し、活動の輪を広げていくことが重要です。

目 標

● 地域の交流で食文化を継承しよう

世代間の交流機会を増やすなど、地域の行事食や伝統料理などの食文化、地域の産物の継承や楽しく食事をする機会をつくります。

● 地域の食文化を守ろう

各地域での伝統料理などの文化が継承されるよう、その情報収集を行うとともに、学習の場を提供します。

具体的な取り組み

地域では

- 伝統料理などを食卓に出し、普段の生活の中から文化が継承されるよう努めます。
- 地域の中で、高齢者と子どもの食の交流など、世代間の交流の機会を増やし、コミュニティの輪を広げます。
- 伝統料理を継承する市民団体やJA等の料理教室などを開き、学べる機会づくりを行います。
- 市内の飲食店において、商工会の指導により地元産品の活用に努めるとともに、特色のあるメニューの開発と提供に努めます。
- 市内の小売店などで、商工会の指導により安全・安心な食品提供を行うとともに、食育に関する啓発活動を行います。

市は

- 日進市の伝統料理の普及に努めます。
- 給食における献立に伝統食を提供し、子ども達に伝えていきます。

現在までに以下のような取り組みを行っています。

①産業振興課

所属	建設経済部産業振興課
テーマ	地産地消～将来を担う子ども達のために～
取組事例	<p>地元産の野菜を地元で消費すること（地産地消）は、生産者の顔が見えるため安心感が得られ、また輸送に伴うエネルギーの削減にもなるため、環境への配慮にも繋がります。</p> <p>そういったことから、今後は、農業後継者の不足という問題を抱える一方、安心・安全な農作物に対する需要が一層見込まれると考えられます。</p> <p>本市では、食育推進活動の一環として、市民の方々に安心な作物や加工品を提供することを目的として活動されている農家を支援し、地元産の野菜を活用した取り組みを行っています。</p>
	<div data-bbox="258 831 474 869" data-label="Section-Header"> <p>日進野菜研究会</p> </div> <div data-bbox="258 880 807 1153" data-label="Text"> <p>今年で32年目を迎える朝市。 毎週日曜日、地元の農家が自分の畑で獲れた作物や、加工した品を売っています。 食の安心・安全が叫ばれる中で、近年、依頼も増え、若年層からも支持を得ています。</p> </div> <div data-bbox="833 880 1340 1252" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1021 1258 1173 1294" data-label="Caption"> <p>朝市の様子</p> </div> <div data-bbox="258 1258 622 1299" data-label="Section-Header"> <p>日進生活改善実行グループ</p> </div> <div data-bbox="280 1370 748 1724" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="335 1742 627 1780" data-label="Caption"> <p>梅干作り講習会の様子</p> </div> <div data-bbox="761 1379 1366 1657" data-label="Text"> <p>伝承料理の継承を目的とし、市内で様々な食育活動に取り組んでいます。 産業振興課では、このグループの協力を得て年に数回、料理講習会を開催しています。 参加者は、子育て中の女性や団塊の世代など、幅広い世代に渡っています。</p> </div>

②その他

所属	JA あいち尾東日進支店（女性部）
テーマ	女性部活動を通して「地産地消」
取組事例	<p>料理クラブにて料理実習</p> <p>年7回開催しており、うち4回は生活習慣病（高血圧症、糖尿病、高脂質血症、骨粗しょう症）予防などのための健康料理、その他3回は焼肉のタレ作り、お正月のおもてなし料理、おこしもの作り等を実施しています。</p> <p>材料はお米は日進産米（コシヒカリ、あいちのかおり、ミネアサヒ、祭り晴）を使用しています。野菜も産直コーナーから地元産の野菜を使用し、手に入らない場合は県内産、国産にこだわるなど、地産地消を心掛けています。</p> <p>産業まつりにて手作り五平餅の販売</p> <p>毎年開催される日進市産業まつりにて、手作り五平餅を販売しています。材料の米は日進産のものを使用し、タレも手作りにこだわっています。</p> <p>みそ作り</p> <p>日進産大豆を使用したみそ作りを実施しています。材料である麴は、岡崎市及び幸田町産のものを使用しています。</p> <p>以上のように、JA女性部では、「できるかぎり防腐剤などを使用しない安心なものを食卓へ・・・」という事を常に心掛けて活動しています。</p>

(4) 食育推進のための環境づくり

課題

「食育」という言葉は近年使われるようになってきましたが、まだ一般的に正しい認識が定着しているとは言えない状況にあります。

一人ひとりが食育の重要性を認識し、食に関する正しい知識をもてるようにするため、わかりやすく普及していく必要があります。

食育を広げていくために、家庭、学校、企業、生産者、関係機関、市民団体、ボランティアなどが食に対する共通認識を持ち、積極的に連携しながら食育を進めていくことが必要となります。

目標

●「食育月間」と「食育の日」を定着させる

6月の食育月間、毎月19日の食育の日には、食育について広く市民に広めていく機会とし、広報などで啓発に努めます。

●食育ネットワークを構築する

関係団体等が行う食育に関する活動の支援など、相互の連携に努めるとともに、情報共有などをすすめ、総合的な食育推進を目指します。

具体的な取組

家庭では

- 一人ひとりが自分の食生活を点検し、食育を意識した生活に努めます。
- 食育に関して、地域や家庭でできることを積極的に行います。

団体は

- 団体の活動を積極的に広め、食育を広く普及するための啓発活動を行います。
- 地域でのそれぞれの活動を通じ、食育の普及に努めます。

市は

- 市広報、ポスターの掲示やパンフレットの作成、配布など、食育に関するPRなど情報提供を行います。
- 各種健康相談や教室において、食習慣の重要性や食の安全性、食品・栄養についての知識の普及に努めます。
- 6月の「食育月間」や19日の「食育の日」において、食育について広く広報、講演会等の啓発活動を行います。
- 食育活動がより活性化されるよう、食育の情報発信及び活動場所の提供を行います。

2 計画の数値目標

食育を効果的に推進するため、数値目標を設定し、取組みの達成状況や成果を測る指標とします。

目標		現状値※1	県現状値※2	目標値※3	
「食育」に関心がある人の割合	全体	57.6%	-	90%以上	
朝食欠食者の割合	20代男性	18.0%	11.6%	15%以下	
	高校生	7.3%	8.6%		
	中学生	3.4%	6.1%		
	小学校高学年	0.9%	2.9%		
	小学校低学年	0.4%			
食事バランスガイドの内容を理解している人の増加		34.9%	-	50%以上	
朝食を家族と食べている 児童の割合	小学校高学年	67.2%	-	90%以上	
	小学校低学年	72.4%	-		
肥満者の割合	成人男性	24.4%	24.2%	15%以下	
	成人女性	8.7%	15.3%	8.7%以下	
	児童	中学生	2.1%	2.0%	1.7%以下
		小学校高学年	1.9%		
小学校低学年	4.5%				
やせ過ぎ者の割合	20代女性	25.0%	27.9%	14%以下	
日進産に限定した米の学校給食導入回数		年4回	-	月1回	

※1 現状値は、「いきいき健康プランにっしん21（中間見直し）」アンケート結果に基づく。

※2 愛知県現状値は「あいち食育いきいきプラン」の数値。

※3 目標値は国の「健康日本21」、「あいち食育いきいきプラン」及び「いきいき健康プランにっしん21（中間見直し）」の値を使用。

3 食育推進体制

(1)日進市食育推進委員会

日進市食育推進委員会設置要綱に基づき、食育推進計画の実施の推進及び食育の推進に関する施策の実施を推進します。

(2)担当者会議

関係各課が連携し、食育推進計画を推進するために、担当者が集まり開催します。

(3)支援体制

本計画に基づく取組みについて、実施状況をまとめ、ホームページや広報などで公表し、食に関する正しい知識と持続的な実践に向けた支援体制を整備します。



参考資料

食育基本法

にっしんの統計書

国勢調査

2005年農林業センサス

あいち食育いきいきプラン

第4次日進市総合計画

健康日本21あいち計画

いきいき健康プランにっしん21

日進市都市マスタープラン

健康日本21